

# 図書館だより

2024年5月号  
No.022

司書の島田です！  
多様性という言葉も聞き慣れた昨今、日本においても人種の多様化が進んでいるように感じます。

今月ご紹介するのは「ふるさとって呼んでもいいですか？」という本（334.41/N:4階/多様性と個性）です。

著者のナディさんは、6歳のときにイランから両親と弟の一家4人で日本に移り住みました。しかし、観光ビザが切れて不法移民となった一家が日本で生きていくのは簡単なことではありませんでした。

また、こどもの頃から日本のアニメを見て育ち、日本食になじんだナディさんと弟は、イランに一時帰国をしても故郷に戻ったという感覚を得ることができません。かと言って外見から日本人にも見られず、自身のアイデンティティについて思い悩みます。

これからの日本に必要なのは「内なる国際化」ではないかと訴えるナディさん。日本人が外国語を学び海外に行くだけではなく、異なるルーツを持つ人々がそれぞれの文化や宗教を大切にしながら暮らしていける社会。それがこの本から学べるのではないのでしょうか。

今月も図書館に新しい本が入ってきました！  
場所は1階の図書館カウンター前です◎

## 5月の 新着図書

タイトル	著者
ぎんなみ商店街の事件簿	井上 真偽
どうしてわたしはあの子じゃないの	寺地 はるな
八月の御所グラウンド	万城目 学
すべての人にいい人である必要なんてない	キム ユワン
推しの素晴らしさを語りたのに「やばい！」しかでてこない	三宅 香帆
〈萌えすぎて〉絶対忘れない！妄想古文	三宅 香帆
工もい古語辞典	堀越 英美
これで、歌がうまくなるコツがぜんぶわかる	大槻 水澄



貸出中の本は予約もできます！  
気軽に声を掛けてください◎

話題の本やシリーズの続き、読み物もたっぷり◎

推し、古文、言語、音楽、カメラ、絵本、心に響くエッセイまで！

色々な種類の本がありますよ♪



4月30日は「図書館記念日」

5月1日～31日は「図書館振興の月」

図書館記念日は、1950年（昭和25年）4月30日に公布された「図書館法」を記念して制定されました。誰もが等しく、原則無料で図書館が利用できるのは、この「図書館法」があるからなんです。今回の展示では、図書館を舞台にした小説から、国内外の色々な図書館が掲載された写真集、私たち司書のお仕事本まで、図書館に関する様々な本をあつめました！

## 図書館からのお知らせ

学校や家から図書館の資料を検索できるサイト『OPAC』をぜひ活用してください！  
<https://kokusai-h.opac.jp/> ID: OIJS pass: library



「なぜか懐かしさを感じる」と10代、20代に人気の昭和レトロ。最近では昭和をテーマにしたスポットや雑貨、文具など様々なものを見かけることが多くなりましたね。

「昭和」と聞くと、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？ 今回の展示では、昭和を紹介する本とともに、なんと司書の実家から取り出したダイヤル式黒電話やポカベルも一緒に展示しています！実際にさってみることもできますよ♪

本やモノを通じて、昭和という時代に触れてみてはいかがでしょうか？

